

## 【経営学研究科】

### 【試験に関する質問】

Q1：入試実施日はいつか？

A：博士前期課程は9月と2月に実施。9月に不合格になった場合、2月の再受験が可能。  
博士後期課程は2月のみ実施。

Q2：商研や政経研などと併願可能か

A：日程が許せば可能。

Q3：指導教員にコンタクトを取りたい

A：HPにメールアドレスを公開している先生が載っているので、そこにメールを送る。  
公開されていない先生もいるが、それはその先生が公開を望んでいないということなので、大学のHPに公開している大学院宛のメールアドレスにメールを送る。そのメールを受け取り先生に転送する。返信があるか約束は出来ない。

Q4：どの指導教員がおすすめか

A：ガイドブックに記載されている専門領域を参照して、自身で決定してもらう。

Q5：事前にコンタクトを取ることは合否に影響するか

A：影響しない。

Q6：定員は何名か

A：博士前期40人（内訳：リサーチは一般と留学生が受験し、定員は25人。  
マネジメントは社会人が受験し、定員は15人。）博士後期課程8人（内訳：一般と留学生で8人、社会人のための枠なし）

Q7：倍率は何倍か？

A：年によって異なる。例年、博士前期は2.5～3.5倍ほど、博士後期は1.5～2倍ほど。

Q8：リサーチコースとマネジメントコースの違いについて

A：リサーチは研究者育成のためのコース。研究者を目指して博士後期に進学する他、就職する者も多い。マネジメントは社会人のためのコース。平日夜間と土曜日で修了できるようにカリキュラムを編成している。

Q9：留学生がマネジメントコースとして入学可能か？

A：原則、マネジメントコースは社会人向けなので、対象外であるが、実務経験が3年以上あれば可能。

Q10：願書等の入手方法

A：志願書類については、HPからダウンロード。6月にアップロード予定。  
現在HP上に掲載されているのは昨年度のものであるが、おおよその参考としては使える。

Q11：留学生A区分と留学生B区分

A：留学生A：海外の大学のみ卒業

留学生B：日本の大学を卒業

日本の大学とのダブルディグリーで来日している学部生の場合、留学生B区分で受験

Q12：留学生でも一般試験受験可能か？

A：募集要項に記載の出願要件に該当すれば、受験は可能

Q13：提出する証明書等はコピーでもよいか／中国語でよいか

A：不可。原本が必ず必要。また、中国国内の教育機関卒業・修了(見込)者は、必ず、「CDGDC」や「CHSI」から発行する必要がある。  
詳しくは、募集要項を確認するよう案内。

Q14：出身校が国外など遠方で出願書類の用意が難しい。配慮出来ないか。

A：特別に配慮はしない。早めに準備を始めて、出願期間中に提出する必要がある。  
書類がそろっていないければ受験できない。

Q15：(主に中国)3年制の大学を出ているが、出願出来るか

A：経営学士や商学士などの学位取得または取得見込の場合、出願が認められる可能性がある  
ので大学院事務室に問い合わせるよう促す。(出願資格審査で資格の有無を判断される)。学位の出ない大学出身なら出願できない。

Q16：出願書類は返却可能か

A：原則、返却しない。ただし、TOEIC Official scored report は返却する。

Q17：日本留学試験は日本語能力試験に振り替えることができるか

A：振替はできない。必ず日本留学試験を受験すること。

Q18：日本留学試験は何点以上必要？

A：「日本語」を受けて、「記述」「読解」「聴解・聴読解」の合計が360点以上必要。  
なお、本年度と昨年度のスコアのみ有効となる。

Q19：マスターの試験科目は何があるか

A：区分により異なるが、以下の筆記試験に合格した者は、筆記の翌日に面接を行う。  
詳細は募集要項を確認するよう、促す。

～参考～

一般	⇒専門科目（経済学・経営学・会計学から1題選択）
留学生A	⇒専門科目+小論文+日本留学試験360点以上
留学生B	⇒専門科目（経済学・経営学・会計学から1題選択）
社会人（一種）	⇒小論文
社会人経営卒	⇒なし（面接のみ）
3年早期	⇒なし（面接のみ）
飛び入試	⇒なし（面接のみ）

★マネジメントコース以外は英語スコアの提出が必要。

Q20：ドクター試験科目は何があるか

A：募集要項の確認を促す。

一般

1次試験 修士論文審査（修論を提出せずに修了した場合は修論相当のものを提出）

2次試験 修士論文審査の合格者のみ、1日目に英語、2日目に面接試験を行う。

留学生

1次試験 修士論文審査（修論を提出せずに修了した場合は修論相当のものを提出）

2次試験 修士論文審査の合格者のみ。

（1日目に英語+小論文、2日目に面接試験を行う。）

Q21：TOEIC等の英語スコアは何が対象か

A：英語スコアの対象は募集要項を確認してください。なお、リサーチコース志願者及び博士後期課程志願者は英語スコアの提出が必要です。たまた、免除を受けるために必要と  
考えて受験しない人がいますが、必ず提出してください。

Q22：筆記試験は何が出る？何を勉強すればいい？

A：直近の過去問でご確認ください。HPで公開しています。

## 【入学】

Q23：ビジネススクール？

A：ビジネススクールではなく、経営研は研究者養成のために設置している。ビジネススクールは実学志向。世間で言われるMBAは、専門職大学院のグローバル・ビジネス研究科を修了することでもらえる。今日、専門職大学院も来ているので見比べてほしい。

Q24：9月入学は出来るか？

A：出来ない。全員4月入学となる。

Q25：複数の大学院・研究科に合格した場合どうするか

A：入学手続き期間内に決めてもらう。期間は募集要項に記載している。

Q26：留学生は多いか

A：全体の3割程度。そのうち9割が中国や韓国などの東アジア。

Q27：学費はいくらか。どのように支払うか

A：半期ごとの支払いとなる。入学手続き時に入学金＋春学期分の学費＋諸会費を支払う。金額は823,000円。Ⅰ期合格者は11/30、Ⅱ期合格者は3/10が期限。

Q28：奨学金の種類について

A：入口近くのブースで奨学金の案内をしている。種類は複数ある。どの奨学金も入学前に申請手続きはできないが、それぞれ期限があるので、各自確認すること。大学院独自の奨学金も設置している。

## 【学業】

Q29：定期試験はあるか

A：科目や担当の先生によるが、大学院では実施されないことが多い。代わりにレポート提出など。

Q30：ダブルマスター（ディグリー）プログラムとは

A：協定校（マレーシア工科大学）に正規生として留学し、所定の科目を修得することで相

手校の学位も得られるプログラム。授業はすべて英語でおこなう。履歴書に記載すること可。

Q31：修了（卒業）要件は？

A：各課程・各コース所定の単位を満たして、修士論文（博士後期課程は博論）の提出・面接を経て合格すると修了となる。マネジメントコースに限っては修士論文の代わりにレポートを出すことも卒業可能。

必要単位は、博士前期課程＝36単位、博士後期課程＝12単位  
演習を残して、1年で全単位取得可能。

## 【就職】

Q32：就職活動はいつから

A：博士前期課程1年の春学期ころから企業の説明会やエントリーが始まり選考は夏から。早い人は準備している。また、大学院全体で、キャリアガイダンスやインターンシップ等のサポートプログラムを用意している。

Q33：就職できるか

A：できる。近年の経営研の就職実績は上々。外資系、金融、メーカー、監査法人、ITへの就職実績が多い。ただし、進学するだけでは就職はできない。留学する、研究に打ち込むなどといった真摯な姿勢が前提となる。

## 【非正規生】

Q34：研究生に応募できるか

A：原則、受け付けていない。推薦が必要だが、自己推薦や語学学校の先生の推薦からでは条件を満たさない。大使館から推薦を受けた国費留学生に限り研究生となれる。

Q35：科目等履修生について

A：募集要項は3月上旬にHP公開済。春学期は3月末頃、秋学期は8月末頃を受付日としている。留学生は日本留学試験360点以上を取得しないと出願できない。修得単位数は10単位を上限としているので、科目等履修生を理由にビザの延長はできない。

Q36：聴講生について

A：留学生は不合格者のみ出願可能。また、日本の大学を卒業するまたは日本留学試験360点以上を取ることが必要となる。3月上旬に募集要項をHPに公開し、手続きは4月下旬。

なお、聴講生は1年間授業を取ることを理由にビザの延長は可能。